



かていがくしゅう 家庭学習



よ
これを読んで、
かていがくしゅう めいじん
家庭学習の名人になろう！



加須市立種足小学校





1 家庭学習の大切さ

みなさんは「宿題」に対してどのようなイメージをおもちでしょうか。宿題は、「させられるもの」というイメージがあるのではないのでしょうか。今、「させられる宿題」ではなく「自分から進んで取り組む家庭学習」の大切さが大きく注目されています。種足小学校では、「主体的に学び、確かな学力を身に付けるため家庭学習の習慣」を身に付けていきたいと考えています。



2 家庭学習の目的

①学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん脳を鍛えましょう。

③学ぶ習慣をつける

毎日続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、「テレビを消す」「みんなで読書をする」といった家族全員の協力が必要となります。

⑤家族のつながり

「本を読んでいる時、横で聞く」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりする」など家庭学習をしている子どもに保護者が関わることによりコミュニケーションを図ることができます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定となり、健やかな成長につながります。

3 家庭学習のポイント

①決まった時間に毎日コツコツする

学校では、各学年に応じた宿題を毎日出しています。学校が休みの日でも例外ではありません。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日もあるかと思いますが。その場合は、先に済ませたり、テレビやゲームはなしにしたりして時間を生み出すことも必要です。家族で十分話し合い、実行しましょう。お腹が空いた夕食前の学習がおすすめです。

②集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間ダラダラ取り組んだからといって成果が上がるとは言えません。短時間で集中して学習することが長続きのコツです。

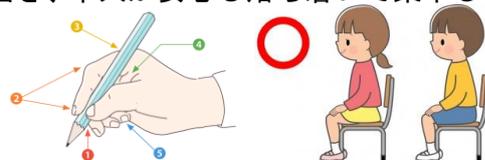
10分×学年+10分を目安にして集中してがんばることを心がけてください。

③家庭学習をしている時は、テレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は厳禁です。また、テレビの音が聞こえるような環境では子どもは集中できません。見たい番組は録画するなど工夫しましょう。静かに学習できる環境を作りましょう。

④整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど気が散るようなものが近くにあっては学習に集中できません。保護者の目が行き届き、本人が安心して落ち着いて集中し学習できる環境づくりが大切です。



⑤子どものがんばりを認め、ほめて励ます

親や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。強制したり、間違いを厳しく叱ったりせず、温かく見守り、声かけをしてください。



⑥学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの原則です。学校でも家庭でも子どもたちが生き生き元気に学習に取り組むように、早く寝かせ、早く起こし、朝ご飯をしっかり取らせましょう。就寝時刻は、高学年でも遅くとも22時までに就寝させ、8時間以上の睡眠時間の確保をお願いします。

⑦家庭での読書習慣と運動習慣（それぞれ10分間）を…

読書をすることで、さまざまな知識を身に付けたり、さまざまな世界を楽しむことができます。また、想像力や読解力、論理的思考力が養われるなどの教育効果があるともいわれています。読みやすい内容からはじめて、少しずつ読書量を増やしていきましょう。

また、子どもの体力の向上の必要性が重要視されています。健康でなければ学習も進みません。姿勢を保ったり、健康を保ったりするために運動・体力づくりを習慣づけましょう。



4 家庭学習の方法

1、まず、漢字や計算などの自主学習以外の学習に取り組めます。

2、次に、自分で決めた学習（自主学習）に取り組めます。

- ①決まった時間に毎日、やります。（学年×10分+10分間）
- ②取り組んだ日の日付、時間を書きます。
- ③ふりかえりを書きます。

【全教科】

- 家にある問題集などに取り組もう。
- 返されたテストの問題を、もう一度ノートに書いて解いてみよう。

【国語】

- とめ、はね、はらいに気を付けて漢字の練習をしよう。
- 漢字を使った作文づくりをしてみよう。
- いろいろな本を読もう。
- 教科書に出てくる言葉の意味を調べよう。
- 詩や物語、説明文の視写をしよう。
- ローマ字の練習をしよう。
- ことわざ、慣用語調べをしよう。
- 日常生活の中で関心のあることについて意見文を書こう。

【算数】

- 計算ドリルの2回目、3回目に取り組もう。
- 今日、学習した問題をもう一度やろう。
- 図形を描く練習をしよう。
- 次に勉強するところを読んでみよう。

【生活】

- 家の中にある身近なものを使って、おもちゃを作ってみよう。

【音楽】

- 教科書にのっている曲について、リコーダーやけんばんハーモニカで演奏(えんそう)してみよう。

【社会】

- 教科書や資料集を見ながら、大切なことをノートにまとめよう。
- 新聞やニュースを見て、感想を書こう。
- 都道府県や世界の国の名前を書こう。

【理科】

- 学校でやった実験や観察の結果をまとめよう。
- 教科書をもう一度読み返そう。
- 実験の手順をもう一度、ノートに書いてみよう。
- 次に勉強するところを読んでみよう。

【図工】

- これまでに学習したことで、また作ってみたいもの、描いてみたいものを家にある材料を使って表現してみよう。
- 教科書にのっている作品などを鑑賞し、感想を書いてみよう。

【体育】

- 家の中でできる運動（体をのばしたり、ほくしたりする運動、リズムにのって体を動かす運動）に取り組もう。
- なわとびのいろいろな技に挑戦しよう。



3、終わったら、家の人に見せて、次の日の準備をします。

※学習が終わったら、次の日の準備をさせてください。鉛筆を削り、準備物をしっかりと整え、次の日の学習予定をしっかりと頭に入れておくように心掛けてください。

◆こんな時期です◆

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。

◇いっしょにして、やる気をおこす◇

いっしょに、学習内容ややり方を決めましょう。
できたことをほめることで、意欲が高まります。

ポイント



① 子どもの学習に関心を！

「家で勉強する」という習慣をつけましょう。
・少ない時間でも一緒にやる。
・一緒にできない時は、後で目を通す。

② 学習環境について

学習机など、いつも決まった場所を作りましょう。
・テレビは消す。せめて音量を下げるように家族が協力する。やる気に繋がります。

③ 家庭と学校の連携

学校からの連絡やお手紙と一緒に確かめましょう。
・毎日、連絡帳を見てサインをする。子供も担任も安心します。

低学年で身に付けさせたい力

☆こんな1年生を目指します☆

- 鉛筆を正しくもって字が書ける。
- ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- 教科書がすらすら読める。
- 助詞「てにをは」を使い分けて文章を書ける。
- 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- たし算やひき算が正確にできる。
- おふろ大好き、顔にシャワーがかかっても平気でいられる。

チェック
してみよう！



☆こんな2年生を目指します☆

- 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- 順序よく話をすることができる。
- 九九がすらすら言える。
- 定規を使って筆算をきれいに書きながら、計算できる。
- 決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- 時計(アナログ)を見て、何時何分か読むことができる。
- たし算、ひき算、かけ算が正しく速くできる。
- 鉄棒やマット(布団)で逆さになっても平気でいられる。



◆こんな時期です◆

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。



◇認めて、ほめて、自信をつける◇

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。
宿題をみるなど手助けして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。

① 子どもの学習に関心を！

がんばりの見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。

- ・分からないことは一緒に考える。
- ・子供のちょっとしたがんばりを褒める。

② 学習環境について

学習を始める時間を一緒に決めましょう。

- ・テレビやゲーム、スマホは家族と話し合って、時間を決める。

③ 家庭と学校の連携

学校からのお便りを家族に手渡す習慣をつけましょう。

- ・置く場所を決める。
- ・食事のときに渡す等、約束をする。

中学年で身に付けさせたい力

☆こんな3年生を目指します☆

- 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- 主語と述語の意味がわかる。
 - 短い詩などをいくつか暗唱できる。
- 簡単なことわざを知っている。
- 月に1冊は本を読む。
- 国語辞典を手元に置いて使い方に慣れる
- かけ算やわり算など正しい手順で計算できる。
- 三角定規やコンパスを正しく使うことができる。
- はかりを使って重さがはかれる。目盛りが読める。
- 47都道府県の名前が分かる。

☆こんな4年生を目指します☆

- 配当漢字のすべてが読め8割以上の漢字が書ける。
- 漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ローマ字を適切に読み書きできる。
- 短い詩などをいくつか暗唱できる。
- 文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うことができる。
- わり算の筆算ができる。
- 倍を使った文章題が正しくできる。
- 分度器を正しく使うことができる。
- 地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- 47都道府県の位置が分かり、正しく名前を書くことができる。

チェックしてみよう！



◆こんな時期です◆

- 自分でできると思っているのに、言葉かけに配慮が必要です。
- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 体も心も急激に変化します。バランスがくずれ、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。

◇見守って 伸ばす◇

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、
将来の夢や目標をもって努力するようになります。

ポイント



① 子どもの学習に関心を！

- 計画を立てて自力で学習を進めるように見守りましょう。
- ・子供のちょっとしたがんばりをほめる。
 - ・他の子と比べず、昨日のわが子と比べて褒める。

② 学習環境について

- 自分に合った生活リズムをつくりましょう。
- ・夕食前、早朝など学習に取り組む時間を決める。

③ 家庭と学校の連携

- 思春期を迎え、子供の心と体について、気になることがあれば、担任の先生と話し合しましょう。
- ・家庭でも、学校でも、子供の話をよく聞く。

高学年で身に付けさせたい力

☆こんな5年生を目指します☆

- 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- 今まで習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- 月に1冊以上本を読む。
- 小数のかけ算・わり算や分数のたし算・ひき算ができる。
- 百分率を使った問題を解くことができる。
- パソコンでローマ字入力ができる。
- 日本や世界の国々の主な国の位置を正しく示すことができる。

☆こんな6年生を目指します☆

- 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- 小学校で習う漢字を使った熟語の8割以上が正しく書ける。
- 歴史に残る古文のいくつかを暗唱できる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。
- 歴史上の人物や出来事について、だいたい説明できる。
- 重要な年号を30程度覚える。
- 日本国憲法の前文を暗唱できる。
- 三権分立など、社会用語のだいたいが説明できる。
- 日本や世界の国々の主な国の位置を正しく示すことができる。
- 理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- パソコンで速くローマ字入力ができる。



チェック
してみよう！